



## 「キリストと共にある教会とそのゴール」

| 2021年度の目標を覚えて③ ヨハネの福音書10：1-39他 小野寺 望 牧師

### 【 ヨハネの福音書 10章 】

- 1 「まことに、まことに、あなたがたに言います。羊たちの囲いに、門から入らず、ほかのところを乗り越えて来る者は、盗人であり強盗です。
- 2 しかし、門から入るのは羊たちの牧者です。
- 3 門番は牧者のために門を開き、羊たちはその声を聞き分けます。牧者は自分の羊たちを、それぞれ名を呼んで連れ出します。
- 4 羊たちをみな外に出すと、牧者はその先頭に立って行き、羊たちはついて行きます。彼の声を知っているからです。
- 5 しかし、ほかの人には決してついて行かず、逃げて行きます。ほかの人たちの声は知らないからです。」
- 6 イエスはこの比喻を彼らに話されたが、彼らは、イエスが話されたことが何のことなのか、分からなかった。
- 7 そこで、再びイエスは言われた。「まことに、まことに、あなたがたに言います。
- 8 わたしは羊たちの門です。わたしの前に来た者たちはみな、盗人であり強盗です。羊たちは彼らの言うことを聞きませんでした。
- 9 わたしは門です。だれでも、わたしを通して入るなら救われます。また出たり入ったりして、牧草を見つけます。
- 10 盗人が来るのは、盗んだり、殺したり、滅ぼしたりするためにほかなりません。わたしが来たのは、羊たちがいのちを得るため、それも豊かに得るためです。

(4ページへ続く)

※途中の聖句を割愛します。

- 37 もし、わたしがわたしの父のみわざを行っていないのなら、わたしを信じてはなりません。
- 38 しかし、行っているのなら、たとえわたしが信じられなくても、わたしのわざを信じなさい。それが父がわたしにおられ、わたしも父に在ることを、あなたがたが知り、また深く理解するようになるためです。」
- 39 そこで、彼らは再びイエスを捕えようとしたが、イエスは彼らの手から逃れられた。

### 【 エペソ人への手紙 】

- 2：20 使徒たちや預言者たちという土台の上に建てられていて、キリスト・イエスご自身がその要の石です。
- 2：21 このキリストにあって、建物の全体が組み合わされて成長し、主にある聖なる宮となります。
- 2：22 あなたがたも、このキリストにあって、ともに築き上げられ、主にある聖なる宮となります。
- 3：10 これは、今、天上にある支配と權威に、教会を通して神のきわめて豊かな知恵が知られるためであり、
- 3：11 私たちの主キリスト・イエスにおいて成し遂げられた、永遠のご計画によるものです。
- 3：20 どうか、私たちのうちに働く御力によって、私たちが願うところ、行うところのすべてをはるかに超えて行くことのできる方に、
- 3：21 教会において、また、キリスト・イエスにあって、栄光が、世々限りなく、とこしえまでもありますように。アーメン。

\* 特に断りがない限り、新改訳2017より使用

## ◆はじめに

| 2021年度の目標：「神の御住まいとしての教会」 (エペ2：1-22)

### 1.引き続き「普遍的教会」について学ぶ

- (1) 新約聖書において「教会」には、二つの概念を見出すことができる。
  - ① 普遍的教会 (目に見えない教会)
  - ② 地域教会 (目に見える教会)
- (2) クリスマン生活や、新約をより深く理解するための、「教会」を学ぶ。
  - ① キリスト無しに普遍的教会はあり得ないことと、その目的について。

## ◆メッセージのアウトライン紹介とゴール

| 普遍的教会はメシアにあって、どこを目指しているのか

\* このメッセージは、普遍的教会の本質とそのゴールを学ぶものである。

## I メシアと普遍的教会のつながりを示す表現 (10項目)

### 1.羊飼いと羊 ヨハネ10：1-39 (イザ40：10、ゼカ11：4~が背景)

- (1) 真の羊飼いは門から入って来る。
- (2) 羊飼いは羊の名を知っていて、羊は羊飼いの声を知っている
- (3) 羊飼いは羊を愛し、羊の必要を満たす。
- (4) 真の羊飼以外はすべて偽物である。
- (5) ユダヤ人信者と異邦人信者をひとつに集める (前回の「奥義」参照)
- (6) 時間的に展開する羊への働き：羊のためにいのちを投げ出す (過去)
  - ① 今は大牧者として羊をきよめる (大祭司としてとりなし) ヘブ13：20-21
  - ② 将来は羊に褒美を与える。 1ペテ5：1-4

### 2.ぶどうの木とその枝 ヨハ15：1-6

- (1) 信者はメシアにつながり続け、力 (成長するための養分) をいただく。
- (2) 不要な枝は取り除かれ、刈り込される。
  - ① 祝福や懲らしめによって整え、多くの実を結ぶようにする。

### 3.隅のかしら石と石の建物 エペ2：19-22

※以前の学びを参照

### 4.大祭司と祭司の王国 ヘブ3：1、4：14-5：10、7：1-10：18、黙1：6など

- (1) イエスは祭司としてご自身の血を携え、天の聖所に入った。
- (2) イエスは祭司の王国 (普遍的教会) のためにとりなしの祈りをささげている。
  - ① 信者に永遠の救いが約束されている根拠である。
  - ② イエスの役目の変化：預言者 (初臨) → 大祭司 (現在) → 王 (再臨後)
- (3) 信者は祭司の王国として、ささげ物を捧げる。
  - ① 血のささげ物ではない。
  - ② 自分の体 (ロマ12：1-2)、礼拝・賛美、感謝 (ヘブ13：5、1ペテ2：5など)

2 献金や善行 (ヘブ13：16)

### 5.かしらとからだ 1コリ12：12-27

※以前の学びを参照

### 6.最後のアダムと新しく造られたからだ 1コリ15：20-22、45-49

- (1) 立場の変化
  - ① アダムにあって死んでいた→キリストにあって生かされている。
  - ② 「キリストとの一体化」「転嫁」ロマ5：12-21、2コリ5：17、ガラ6：15
- (2) 信者は新生し、新しい性質を受ける者とされた。

### 7.花婿と花嫁

- (1) 地上の結婚関係は、キリストと教会の関係の「型」 2コリ11：2
  - ① 両者の間には愛があり、親密な関係がある。
- (2) 今は新郎を待つ段階で、結婚には至っていない。
  - ① キリストは教会のためにいのちを懸けた。エペ5：25-27
  - ② 今、教会を聖なるものとし、将来のご自身の前に立たせてくださる。

### 8.相続人と共同相続人

- (1) メシアは神のひとり子であり、神の相続人である。
- (2) 信者は信仰によって養子となり、共同相続人となった。ロマ8：17
- (3) 御子は万物の相続者であり、信者は御子と共に世界を治める。ヘブ1：2

### 9.初穂とその後続く収穫 1コリ15：23

- (1) キリストは初穂として復活された。
- (2) 初穂に続いて、キリストを信じる者が復活する (収穫物)
- (3) この約束が、地上生涯の困難を乗り越える力となる。

### 10.主人としもべ 1コリ7：20-2

- (1) 信者は代価をもって買い取られた奴隷 (しもべ) である。
  - ① すべての信者は権威の下にある。
- (2) 自らの意志で選んだ奴隷である。コロ4：1

## ◆まとめ：普遍的教会はメシアにあって、どこを目指しているのか

### 1.御名をもって呼ばれる民を召す。 使15：13-18

① 異邦人の中から呼ばれる民を召す (数が満ちるまで)

### 2.ユダヤ人に妬みを起こさせる。ロマ11：11-14

① 「パラ」そばに + 「ゼイラウ」燃やす、嫉妬で顔を赤くさせる、など

### 3.神の豊かな知恵を示すため。 エペ3：10-11

① 「天にある支配と権威」：墮天使たちのこと 6：12参照  
② 教会を通して行っていることを、悪霊どもが知るようになる。

### 4.神の臨在の場となる。 エペ2：20-22

### 5.神に永遠の栄光をもたらすため。 エペ3：20-21

\* 父と共にあったキリスト (ヨハ10~) にあって、神に栄光をもたらす